

## 9. 電子納品検証ソフト

電子納品の為の検証ソフトとして国土交通省の「電子納品チェックシステム」があるが、他にも多くの検証ソフトが市販され流通している。

市販の検証ソフトは、機能をアップして独自性を高めているため、それぞれの検証ソフトによって得られる結果は異なる場合が多い。便利である反面、結果が違うということを前提に利用しないと思わぬ手間が掛かる。

ここでは、国土交通省の検証ソフトと市販の検証ソフトに関する一般的な説明をおこない、市販の検証ソフトを利用する場合に留意しなければならない点について説明する。

### 9.1. 電子納品チェックシステム

国土交通省国土技術政策総合研究所のwebサイトからダウンロードすることができる。  
(<http://www.nilim-ed.jp/calsec/checksystem.htm>) この検証ソフトは、表 9-1に示すように、電子成果品のフォルダ構成、管理項目、ファイル名、レイヤ名などの電子納品に関する要領(案)・基準(案)への整合性をチェックすることができる。

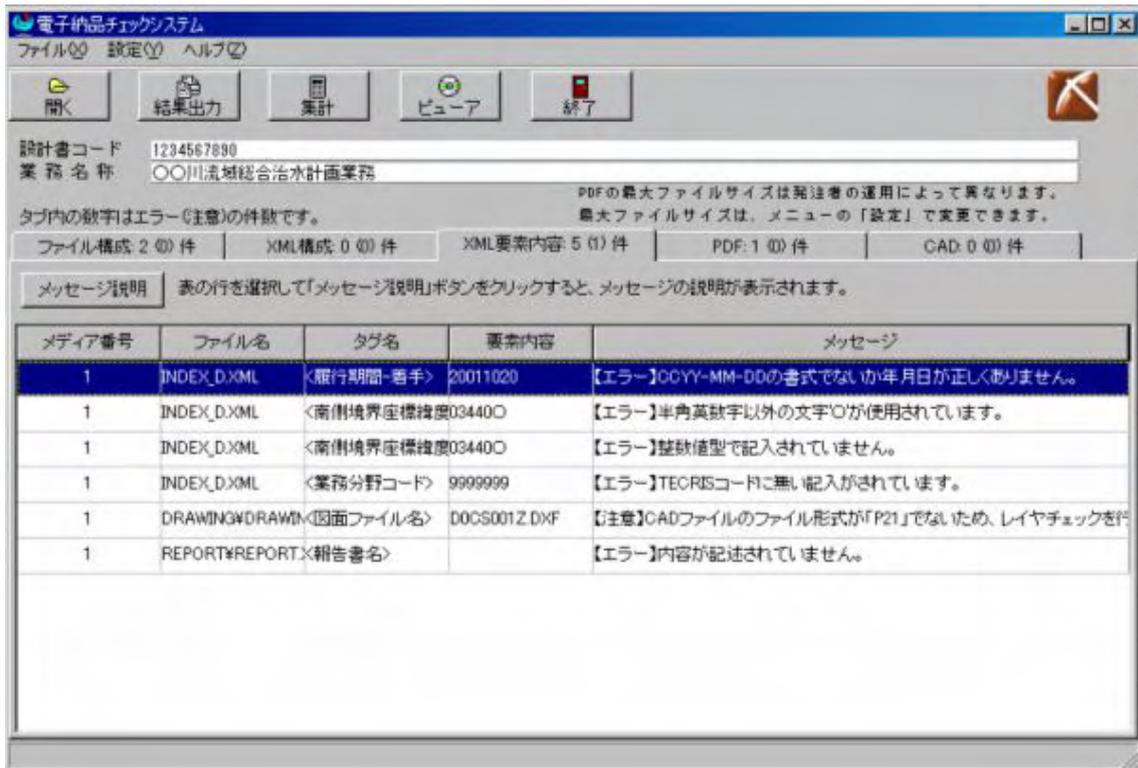


図 9-1 電子納品チェックシステム

表 9-1 電子納品チェックシステムにおけるチェック項目

分類	チェック項目
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル名などのチェック</li> <li>・管理項目のチェック</li> <li>・管理ファイル(XML)の文法チェック</li> </ul>
CADソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル形式のチェック (SXF(P21)形式)</li> <li>・工種に関するチェック (工種名称)</li> <li>・図面種類に関するチェック (ファイル名称)</li> <li>・レイヤ名称のチェック (レイヤ名称)</li> </ul>

操作は簡単で、エラー表示がないことを確認する。主に XML 形式の管理ファイルを基にして検証し、CAD 図面だけでなく全般的にチェックすることができる。

## 9.2. 市販の検証ソフト.

電子納品のための市販の検証ソフトは、次のように大きく 2 つに分類できる。

- \* 国土交通省の「電子納品チェックシステム」と同様に、電子納品された成果物全般に対してチェックするもの
- \* CAD データについてチェックするもの

2 つ目の CAD データについてチェックする検証ソフトは、表 9-2 に示すことが主に検証できる。

表 9-2 市販の検証ソフトの主なチェック項目

チェック項目	内容
用紙の大きさ	A 列、特別延長、例外サイズ
レイヤ	レイヤ名および割り付けられている線種と線色
線種	実線、破線、一点鎖線、二点鎖線
線の太さ	規定の太さおよび比率
文字の大きさ	規定の大きさ

なお、電子納品チェックシステムは、電子納品されるファイルについて検証しているが、CAD ソフトやビューワに組み込まれた市販の検証ソフトは、作成途中の CAD データについても検証が可能となっている。CAD データにおける両者の違いは表 9-3 のとおりである

表 9-3 検証ソフトの違い

項目	電子納品チェックシステム	市販の検証ソフト
ファイル形式	SXF(P21)形式	CAD ソフトのオリジナル形式で行う。 SXF(P21)形式、SXF(SFC)形式やその他のデータ形式も CAD ソフトで開いて読み込めればチェック可能
ファイル名	CAD 製図基準(案)に示されている名称に準じる必要がある	納品用のファイル名である必要はない
チェック項目	レイヤ	用紙の大きさ、レイヤ、線種、線の太さ、文字の大きさなど多種多様
チェック方法	複数のファイルを一括でチェック	読み込んだファイルを個別にチェック (複数のファイルを一括で読み込んでチェックできるものもある)

注：電子納品チェックシステムは、電子納品チェックシステム Ver6.5（土木）

市販の検証ソフトは、用紙の大きさや線種、線の太さ、文字の大きさなど CAD 製図基準(案)の他の項目についてもチェックすることが出来る。しかし、現時点では協議により追加されたレイヤなどに柔軟に対応できない場合が多く、正しいと思われる図面でも多くのメッセージが表示される。

もしも、発注者側で市販の検証ソフトを利用する場合には、表 9-4に示す項目について事前に確認し、関係者における協議で対応を検討することが必要である。

表 9-4 事前確認の内容

チェック項目	事前確認の内容
用紙の大きさ	A1 以外の A 列サイズ、特別延長、例外サイズを使用する場合は、検証ソフトでどのようなメッセージが表示されるか事前に確認しておく。
レイヤ	協議で追加したレイヤがある場合のメッセージおよびレイヤに割り付けられている線種と線色が CAD 製図基準(案)の例以外の場合のメッセージの有無を確認しておく。
線 種	破線、一点鎖線、二点鎖線に利用されている SXF フィーチャが既定義線種やユーザ定義線種の場合、これを確認したときのメッセージの有無を確認しておく。
線の太さ	地形図として DM を元に変換された CAD データが含まれている場合、CAD 製図基準(案)で示されている線の太さ以外の CAD データがあるため、この場合のメッセージの有無を確認しておく。
文字の大きさ	丸囲み文字や、立方メートル (m <sup>3</sup> ) などの上付き文字がある場合。この場合のメッセージの有無を確認しておく。